

第2回 『千曲川堤防調査委員会』

開催日時：令和元年11月13日（水）15:00～17:30

開催場所：ホテル信濃路 3階 信濃

資料：議事次第、配付資料一覧、配席図、資料-1～資料-2

1. 委員会の議事概要

- 令和元年10月台風第19号出水の気象・水文概況、堤防決壊による浸水被害状況、国管理河川千曲川の河川管理施設等の被害及び応急復旧工事状況について、事務局（北陸地方整備局）より説明を行った。

- 決壊の原因特定のため、千曲川左岸57.5k付近の堤防決壊箇所について、考えられる複数の要因（越水・浸透・侵食）を現時点での洪水前後の状況、監視カメラ画像、水位記録、堤防など河川管理施設の破壊状況などの情報をもとに議論を行った。

- また、千曲川左岸104k付近堤防欠損箇所について、考えられる複数の要因（越水・浸透・侵食・構造物の影響）を現時点での洪水前後の状況、監視カメラ画像、水位記録、堤防など河川管理施設の破壊状況などの情報をもとに議論を行った。

- 本委員会において、破壊形態毎に検討した結果、堤防決壊（左岸57.5付近）の原因は「越流による堤体侵食が主要因」と結論を得た。

- また、堤防欠損（左岸104k付近）の原因は「侵食による堤防欠損が主要因」と結論を得た。

- 本委員会の結論を踏まえて、引き続き本復旧工法などを検討していくことを確認した。

■ 委員会の様子



■ 会見の様子

